



学NAVI

2022年度版

6. 履修案内

この「履修案内」は、皆さんが進級ならびに卒業する為に必要な教科の履修に関わる内容をまとめたものです。よく読んで理解をしておいてください。履修とは、教科規定の出席率を満たし、かつ試験が設定されている教科は試験に合格していることをいいます。

«一級自動車工学科 1・2年»

«自動車整備科»

(1) 欠席・遅刻・早退

欠席、遅刻、早退をする時は、必ず事前に必要事項を出欠カードに記入し届けを行って下さい。

【欠席の届け】

- ①欠席届けは事前に学級担任へ提出して下さい。
- ②病気等で事前の届けが提出できない時は、始業前に電話で連絡し、後日必ず欠席届けを提出して下さい。
- ③継続して5日以上欠席する場合は、医師の診断書または証明となる書類を提出して下さい。また、欠席中はその状況を学級担任に随時連絡して下さい。
- ④忌引きで休む場合は速やかに学級担任に連絡し、所定の手続きを取って下さい。

【遅刻・早退の届け】

- ①職員室各学年窓口から出欠カードを受け取り、必要事項を記入して学級担任に提出して下さい。
ただし、授業の途中の時は、「遅刻届」を教科担当に提出して、授業を受けて下さい。
- ②1時限の授業の内、15分を越える遅刻、早退および途中抜けの場合は、その教科の授業は欠席扱いとなります。
(15分以内でも同一時限に遅刻かつ早退すると欠席扱いとなります)
- ③15分以内でも同じ教科で3回遅刻や早退をすると、1時限欠席扱いとなり、補講が必要になる場合があります。
※欠席・遅刻・早退をした時補講が必要となる場合がありますから、安易に欠席しないように心がけ、欠席等の実績を自己管理して下さい。

(2) 補講について

所定の出席時間に満たない場合は、不足した時限数の補講が必要です。

なお、補講は学生の申請により行います。教科担当の指示に従い、指定日時までに速やかに受講手続きをして下さい。補講を受講せずに放置すると、教科の履修ができなくなるので注意して下さい。

- ① 補講の内容 欠席部分の正規の授業内容を行なうことを基本とします。
- ② 補講を受講する場合は、「補講願」に必要事項を記入の上、教科担当に速やかに提出してください。
- ③ オンライン授業の補講は、補講期間設定中に受講することで完了となります。
- ④ 補講手数料 1時限 2000円
*ただし、下記基準にあてはまるときは無料です。
〈無料になるケース〉詳細は学則（細則）に記載してあります
 - 1) 就職活動（会社訪問、就職試験、入社前教育など）
 - 2) 自動車運転免許（新規取得）
 - 3) 伝染病および病気、入院等により欠席した場合で、通院の領収書または医師の診断書の提出があるとき
 - 4) 学校が認めた活動（校外授業、クラブ活動等）、および怪我による欠席
 - 5) その他校長が認めた場合

(3) 提出物について

教科により、履修内容の確認のためレポート等、提出物の提出が必要な場合があります。この際は指定された期日、時間までに教科担当の指示通り提出してください。指示された提出物などが未提出の場合は期末試験が受験できません。

(4) 学習評価について

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈期末試験〉

・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。

実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施することがあります。

〈判定基準〉

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
- 2) 学科、実習共に成績得点が60点（**一級工学科：70点**）以上を合格とします。
※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。
- 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：80点以上 良：60点以上（**一級工学科：70点以上**）

可：60点未満（**一級工学科：70点未満**）

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

〈成績順位について〉

- 1) 半期ごとに学科、実習の期末試験得点の合計得点を集計して成績順位を決めます。

(5) 追試験及び再試験について

期末試験を傷病、その他やむを得ない事由により受験できなかったときは、追試験を行なうことがあります。また、期末試験又は追試験の結果が不合格であった場合は申請により再試験を行うことがあります。各試験は学生の申請により行いますから、教科を担当する教員の指示に基づき、指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

1) 受験回数

- ・追試験 各教科 1 回
- ・再試験 各教科 1 回 ※但し 1 年次 A 巡(第 1 四半期)の学科期末試験に限り、各教科 2 回

2) 合否判定点

- ・追試験 追試験得点を期末試験の得点とします。合否判定は上記「学習評価」の判定基準に準じます。
- ・再試験 学科、実習 共に再試験得点 60 点以上 **(一級工学科：70 点以上)**
※国家 2 級資格取得のための特定の教科においては、80 点以上

3) 試験願の提出の有無に関わらず指定日に未受験の時は、不合格扱いとなります。

ただし、やむを得ず受験が出来ない時は試験延期願を提出して下さい。

4) 追試験手数料 1 教科 2000 円

ただし、公認欠席扱いなどの時は、補講の無料扱いと同じです。

5) 再試験手数料 1 教科 2000 円

(6) 判定試験について

再試験に合格できなかったときは、申請により判定試験を行うことがあります。判定試験に不合格の場合、教科の履修ができなくなります。試験は学生の申請により行いますから、担任または教科を担当する教員の指示に基づき、指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

1) 受験回数 判定試験は各教科 1 回しか受験できません。

2) 合否判定点 学科、実習 共に判定試験得点 60 点以上 **(一級工学科：70 点以上)**

※国家 2 級資格取得のための特定の教科においては、80 点以上

3) 判定試験手数料 1 教科 2000 円

(7) 進級・卒業判定について

進級・卒業判定は下記の基準で実施します。

1) 未履修（不合格）教科がない場合

期末試験（追試験）、再試験、判定試験の成績、出欠状況ならびに、素行状況を総合して行います。全員が進級・卒業判定の対象です。

(注) 素行状況とは、遅刻・欠席状況、授業態度、指導歴（頭髪・ひげ・ピアス等）などです。

※授業態度は、授業中の態度をA、B、Cの3段階で評価、記録します。

2) 未履修教科が残されている場合

進級、卒業不可となります。

一級自動車工学科3年次への進級について

1) 一級自動車工学科の2年次終了時に修了認定を行い、3年次に仮進級できます。

2) 仮進級した者の内、国家二級自動車整備士（ガソリン及びジーゼル）の登録試験のどちらかもしくは両方に不合格となった場合は、3年次進級不可となります。

3) 仮進級した者の内、国家二級自動車整備士（ガソリン及びジーゼル）の登録試験に合格し、全部免除者の要件を満たした者は本進級を許可します。この場合に、一級自動車工学科3年次の9月末までに合格証書の交付を受けていなければ進級取り消しになります。

(8) 転科について

一級自動車工学科から、自動車整備科へ転科することができる。

1) 一級自動車工学科で1年次、または2年次の途中で転科を希望する者はそれぞれの学年の期初から、または1年から2年次進級時に自動車整備科への転科を認めることがある。

2) 転科を希望する者は、転科願いにより、学級担任を経て学校長に願い出なければならない。

3) 進級時の願い出の期間は、原則1年次1月までとする。

(9) 編入について

自動車整備科から一級自動車工学科へ編入することができる。

1) 一級自動車工学科の編入を願い出る事のできる者は、整備科1年次に在学する者に限る。

2) 編入を希望する者は、編入願いを提出し、編入試験の手続きを行ない、合格しなければなりません。

3) 願い出の期間は、自動車整備科の原則1年次12月末まで、

4) 編入試験に合格した者は、自動車整備科卒業後一級自動車工学科3年次に編入が可能であるが、一級自動車工学科2年次から3年次への仮進級と同じ扱いとなります。

(10) モータースポーツ科への進学について

自動車整備科からモータースポーツ科へ進学（入学）することができる。

- 1) モータースポーツ科への進学は、整備科を卒業後、「モータースポーツ科へ入学」の扱いになり、年度最後は「卒業」となる。
- 2) 進学を願い出ることのできる者は、原則整備科1年次に在学する者に限る。
- 3) 進学を希望する者は、進学願いを提出し、進学試験の手続きを行ない、合格しなければなりません。
- 4) 願い出の期間は、自動車整備科の原則1年次12月末までです。
- 5) 仮進学した者の内、国家二級自動車整備士（ガソリン及びジーゼル）の登録試験の両方に不合格となった場合は、モータースポーツ科への進級は不可となります。

«一級自動車工学科3・4年»

(1) 欠席・遅刻・早退

欠席、遅刻、早退をする時は、必ず事前に必要事項を出欠カードに記入し届けを提出して下さい。

【欠席の届け】

- ①欠席届けは事前に学級担任へ提出して下さい。
- ②病気等で事前の届けが提出できない時は、始業前に電話で連絡し、後日必ず欠席届けを提出して下さい。
- ③継続して5日以上欠席する場合は、医師の診断書または証明となる書類を提出して下さい。また、欠席中はその状況を学級担任に随時連絡して下さい。
- ④忌引きで休む場合は速やかに学級担任に連絡し、所定の手続きを取って下さい。

【遅刻・早退の届け】

- ①職員室各学年窓口から出欠カードを受け取り、必要事項を記入して学級担任に提出して下さい。
ただし、授業の途中の時は、「遅刻届」を教科担当に提出して、授業を受けて下さい。
- ②1時限の授業の内、15分を越える遅刻、早退および途中抜けの場合は、その教科の授業は欠席扱いとなります。
(15分以内でも同一時限に遅刻かつ早退すると欠席扱いとなります)
- ③15分以内でも同じ教科で3回遅刻や早退をすると、1時限欠席扱いとなり、補講が必要になる場合があります。
※欠席・遅刻・早退をした時補講が必要となる場合がありますから、安易に欠席しないように心がけ、欠席等の実績を自己管理して下さい。

(2) 補講について

所定の出席時間に満たない場合は、不足した時限数の補講が必要です。

なお、補講は学生の申請により行います。教科担当の指示に従い指定日時までに速やかに受講手続きをして下さい。
補講を受講せずに放置すると、教科の履修ができなくなるので注意して下さい。

- ① 補講の内容 欠席部分の正規の授業内容を行なうことを基本とします。
- ② 補講を受講する場合は、「補講願」に必要事項を記入の上、教科担当に速やかに提出してください。
- ③ オンライン授業の補講は、補講期間設定中に受講することで完了となります。
- ④ 補講手数料 1時限 2000円

*ただし、下記基準にあてはまるときは無料です。

〈無料になるケース〉詳細は学則（細則）に記載してあります

- 1) 就職活動（会社訪問、就職試験、入社前教育など）
- 2) 自動車運転免許（新規取得）
- 3) 伝染病および病気、入院等により欠席した場合で、通院の領収書または医師の診断書の提出があるとき
- 4) 学校が認めた活動（校外授業、クラブ活動等）、および怪我による欠席
- 5) その他校長が認めた場合

(3) 提出物について

教科により、履修内容の確認のためレポート等、提出物の提出が必要な場合があります。この際は指定された期日、時間までに教科担当の指示通り提出してください。指示された提出物などが未提出の場合は期末試験が受験できません。

(4) 学習評価について

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。
可否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈平常試験〉

- ・平常の学習効果を判断するため、随時実施されます。

〈期末試験〉

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。
- ・教科により、レポートで学習効果を判断することがあります。

〈判定基準〉

期末試験得点が70点以上を合格とします。

※国家一級資格取得のための特定の教科においては80点以上を合格とします。

〈成績得点〉

1) (平常試験得点の平均 + 期末試験得点) ÷ 2 を成績得点とします。

※平常試験を行わない教科については期末試験得点を成績得点とします。

2) 成績得点を基に評定 (優・良・可)、成績順位が決められます。

※優：80点以上 良：70点以上 可：70点未満

※評定※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

〈成績順位について〉

1) 半期ごとに学科、実習の期末試験得点の合計得点を集計して成績順位を決めます。

(5) 追試験及び再試験について

期末試験を傷病、その他やむを得ない事由により受験できなかったときは、追試験を行なうことがあります。また、期末試験又は追試験の結果が不合格であった場合は申請により再試験を行うことがあります。各試験は学生の申請により行いますから、教科を担当する教員の指示に基き指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

1) 受験回数

・追試験 各教科 1回

・再試験 各教科 1回

2) 合否判定点

・追試験 学科、実習 共に追試験得点70点以上

・再試験 学科、実習 共に再試験得点70点以上

ただし、国家一級資格取得のための特定の教科においては80点以上を合格とします。

3) 試験願の提出の有無に関わらず指定日に未受験の時は、不合格扱いとなります。

ただし、やむを得ず受験が出来ない時は試験延期願を提出して下さい。

4) 追試験手数料 1教科 2000円

ただし、公認欠席扱いなどの時は、補講の無料扱いと同じです。

5) 再試験手数料 1教科 2000円

(6) 判定試験について

再試験に合格できなかったときは、申請により判定試験を行うことがあります。判定試験に不合格の場合、教科の履修ができなくなります。試験は学生の申請により行いますから、担任または教科を担当する教員の指示に基き、指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

- 1) 受験回数 判定試験は各教科 1 回しか受験できません。
- 2) 合否判定点 学科、実習 共に判定試験得点 70 点以上
ただし、国家一級資格取得のための特定の教科においては 80 点以上を合格とします。
- 3) 判定試験手数料 1 教科 2000 円

(7) 進級・卒業判定について

進級・卒業判定は下記の基準で実施します。

- 1) 未履修（不合格）教科がない場合
期末試験（追試験）、再試験、判定試験の成績、出欠状況ならびに、素行状況を総合して行います。全員が進級・卒業判定の対象です。
(注) 素行状況とは、遅刻・欠席状況、授業態度、指導歴（頭髪・ひげ・ピアス等）などです。
※授業態度は、授業中の態度を A、B、C の 3 段階で評価、記録します。

- 2) 未履修教科が残されている場合
進級、卒業不可となります。

一級自動車工学科 4 年次への進級について

4 年次への進級は、上記基準に加え、3 年次へ本進級していなければ認められません。

(8) モータースポーツ科への進学について

一級自動車工学科からモータースポーツ科へ進学（入学）することができます。

- 1) モータースポーツ科への進学は、工学科を中退または卒業後、「モータースポーツ科へ入学」の扱いになり、年度最後は「卒業」の扱いとなります。
- 2) 進学を願い出ることのできる者は、原則として一級自動車工学科 3 年次に在学する者とする。
- 3) 進学を希望する者は、進学願いを提出し、進学試験の手続きを行ない、合格しなければなりません。
- 4) 願い出の期間は、原則一級自動車工学科 3 年次 12 月末までです。

《モータースポーツ科》

(1) 欠席・遅刻・早退

欠席、遅刻、早退をする時は、必ず事前に必要事項を出欠カードに記入し届けを提出して下さい。

【欠席の届け】

- ①欠席届けは事前に学級担任へ提出して下さい。
- ②病気等で事前の届けが提出できない時は、始業前に電話で連絡し、後日必ず欠席届けを提出して下さい。
- ③継続して5日以上欠席する場合は、医師の診断書または証明となる書類を提出して下さい。また、欠席中はその状況を学級担任に随時連絡して下さい。
- ④忌引きで休む場合は速やかに学級担任に連絡し、所定の手続きを取って下さい。

【遅刻・早退の届け】

- ①職員室各学年窓口から出欠カードを受け取り、必要事項を記入して学級担任に提出して下さい。
ただし、授業の途中の時は、「遅刻届」を教科担当に提出して、授業を受けて下さい。
- ②1時限の授業の内、15分を越える遅刻、早退および途中抜けの場合は、その教科の授業は欠席扱いとなります。

(2) 補講について

授業出席率は全授業時間数の80%（393h/491h）以上とします。※1hは90分です。

所定の出席時間に満たない場合は、不足した時限数の補講が必要です。

補講は学生の申請により行います。教科担当の指示に従い指定日時までに速やかに受講手続きをして下さい。補講を受講せずに放置すると、教科の履修ができなくなるので注意して下さい。

- ① 補講の内容 欠席部分の授業内容を行なうこと、または同等の授業内容を行うことを基本とします。
また、やむを得ない理由の場合（公認、病欠など）、学校の判断によりレポートや科目試験などで補講実施と同等の判断をする場合があります。
- ② 補講を受講する場合は「補講願」に必要事項を記入の上、教科担当に速やかに提出してください。
- ③ 補講 手数料 1時限 2000円

(3) 提出物について

教科により、履修内容の確認のためレポート等、提出物の提出が必要な場合があります。この際は指定された期日、時間までに教科担当の指示通り提出してください。指示された提出物などが未提出の場合は未履修となります。

(4) 学習評価について

学習評価は教科ごとに試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。
可否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈平常試験〉

- ・平常の学習効果を判断するため、随時実施されます。

〈期末試験〉

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。
- ・教科により、レポートで学習効果を判断することがあります。

〈判定基準〉

期末試験得点が 60 点以上を合格とします。

(5) 追試験及び再試験について

期末試験を傷病、その他やむを得ない事由により受験できなかったときは、追試験を行なうことがあります。また、期末試験又は追試験の結果が不合格であった場合は申請により再試験を行うことがあります。各試験は学生の申請により行いますから、教科を担当する教員の指示にしたがい指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

1) 受験回数

- ・追試験 各教科 1 回
- ・再試験 各教科 1 回

2) 可否判定点

- ・追試験 学科、実習 共に追試験得点 60 点以上
- ・再試験 学科、実習 共に再試験得点 60 点以上

3) 試験願の提出の有無に関わらず指定日に未受験の時は、不合格扱いとなります。

ただし、やむを得ず受験が出来ない時は試験延期願を提出して下さい。

4) 追試験手数料 1 教科 2000 円

ただし、公認欠席扱いなどの時は、補講の無料扱いと同じです。

5) 再試験手数料 1 教科 2000 円

(6) 判定試験について

再試験に合格できなかったときは、申請により判定試験を行うことがあります。判定試験に不合格の場合、教科の履修ができなくなります。試験は学生の申請により行いますから、担任または教科を担当する教員の指示に基き、指定日時までに速やかに受験手続を行ってください。

- 1) 受験回数 判定試験は各教科 1 回しか受験できません。
- 2) 合否判定点 学科、実習 共に判定試験得点 60 点以上
- 3) 判定試験手数料 1 教科 2000 円

(5) 卒業判定について

卒業判定は下記の基準で実施します。

- ① 国内 A 級ライセンス、カートライセンス、指定されたサーキットライセンスの取得試験に合格すること。
- ② 授業出席率を満たしていること。ただし、理由により学校の判断で認定することもあります。
- ③ 教科に未履修が無い事。
- ④ サーキットを安全に走行できる技術と車両整備知識を確認する「卒業認定試験」に合格すること。

専門
学校 **日産横浜自動車大学校**